

授業科目名	絵画造形の基礎	担当教員名	石田 晶大
必修/選択	必修	開講学年・学期	1年 前期 (年間開講数 1講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	1単位 (30時間)
施行規則に定める科目区分等	大学が独自に設定する科目- 保育の内容・方法に関する科目	授業方法/担当形態	演習 / 単独
		特記事項	
授業の概要及び全体目標	折り紙やパス、水絵の具等の身近な材料用具で造形的な遊びを通して、保育者自らが造形活動を楽しみ、幼児の発達と造形表現の関わりについて理解を深めながら造形表現に必要な知識と技能を身につけさせる。		
到達目標	<p>幼児の造形について理解を深め、絵画造形表現の基礎的・基本的な知識と技能を修得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 絵画の表現に興味・関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいる。 2. 表現の活動を通して、発想や構想に関する資質や能力を身につけることができる。 <ol style="list-style-type: none"> ①パスや水絵の具などを使っての造形的な遊びを通して、身近な自然物や人工の材料の色や形などを基に、造形的な活動を思いついたり、感覚や気持ちを生かしながら、どのような活動にするかについて考えることができる。 ②絵に表わす活動を通して、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付けたり、好きな色や形を選んだり、色々な形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えることができる。 3. 表現の活動を通して、知識や技能に関する能力を身につけることができる。 <ol style="list-style-type: none"> ①パスや水絵の具などで造形遊びをする活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れ、描いたり、ひっかいたりするなど手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくることができる。 ②絵や立体、工作に表わす活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れ、手や体全体の感覚を働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表すことができる。 4. 身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な材料などの造形的な面白さや楽しさ、表したいことなどについて、感じ取ったり考えがえたりし、自分の見方や感じ方を広げることができる。 		
テキスト	「幼児造形の基礎～乳幼児の造形表現と造形教材～」樋口一成著 (萌文書林)		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社) その他必要な資料はプリント配布。		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度…授業準備状況、作品等の提出状況 (20%) ・知識理解…レポートや配布プリントの記述 (10%) ・造形的な技能…作品の密度や完成度、丁寧な取り組み (70%) 		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	オリエンテーション (授業のねらいと計画、評価、授業内容は参考作品等で解説)、アンケート (学生の造形に関する実態調査)、アートセット配布	1,4	
第2回	鉛筆や色鉛筆による表現「イラスト自己紹介」	1,2-②,3-②,4	
第3回	ペンによる線描「季節の花や野菜の観察をもとに」	1,2-②,3-②,4	
第4回	パスによる線描「曲線や直線で喜怒哀楽を表そう」	1,2-②,3-②,4	
第5回	モダンテクニックで遊ぼう① スパッタリング (ブラッシング) マーブリング (墨流し)	1,2-①,2-②,3-①,3-②,4	
第6回	モダンテクニックで遊ぼう② スタンピング (型押し)、フロッタージュ (こすり出し)	1,2-①,2-②,3-①,3-②,4	
第7回	モダンテクニックで遊ぼう③ ドリップング (吹き流し)、デカルコマニー (合わせ絵)	1,2-①,2-②,3-①,3-②,4	
第8回	モダンテクニックで遊ぼう④ パチック (ロウ画)、コラージュ (はり絵)	1,2-①,2-②,3-①,3-②,4	
第9回	絵の具で遊ぼう① ドリップング (吹き流し) を利用した「四季のイメージ色」の表現	1,2-①,2-②,3-①,3-②,4	
第10回	絵の具で遊ぼう② マーブリング (墨流し) の作品を見て、サインペンで新しい形を発見し描き出す(見立ての美術)	1,2-①,2-②,3-①,3-②,4	
第11回	表現技法を活用した教材研究① スクラッチを利用した表現	1,2-①,2-②,3-①,3-②,4	
第12回	表現技法を活用した教材研究② フィンガーペインティングを活用した表現	1,2-①,2-②,3-①,3-②,4	
第13回	版で表すための教材研究① 紙版画の特性を生かして	1,2-①,2-②,3-①,3-②,4	
第14回	版で表すための教材研究② ステンシル版画の特性を生かして	1,2-①,2-②,3-①,3-②,4	
第15回	前期授業の振り返りとレポート作成 前期で制作した作品の講評を聞き、テキスト「幼児造形の基礎」を読んで「造形表現の意義」について、自分の考えをまとめる。	1,4	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
定期試験	定期試験は実施しない	